

資料番号	9
------	---

令和8年4月17日
課名 商工労働局イノベーション推進チーム
担当者 担当課長 崎本
内線 3346

ひろしまサンドボックス「サキガケプロジェクト」の取組状況について

1 要旨

ひろしまサンドボックスにおける「サキガケプロジェクト」について、令和4年度から令和7年度までの取組状況を報告する。

2 事業目的

前例のないビジネスを進めるスタートアップを対象に、広島をフィールドとした事業性の立証と法規制やルールメイクなど事業推進上のハードル解決に向けた開発・実証を支援し、様々なプレイヤーが広島で持続的に挑戦・活躍できる環境を提供する。

3 取組状況

企業名	主な取組内容
(株) エイトノット	【実証テーマ】 小型船舶での無人航行の実現 【関連法規】 船員法ほか8法令 【実証内容・実績】 ・ 広島港にて水上タクシーでの自律航行機能のアシストによる運行実証 (R4) ・ 自律航行アシスト機能“AI CAPTAIN”一般提供の開始 (R5)
サグリ (株)	【実証テーマ】 農地情報一元管理システムを用いた農地集約化 【関連法規】 農地法 【実証内容・実績】 ・ 尾道市にて衛星画像データ解析と GIS を用いて耕作放棄地を検出するサービスの実証 (R4) ・ 尾道市にて農地マッチングサービス「ニナタバ」を導入 (R6)
LOMBY (株)	【実証テーマ】 公道走行を伴う自動配送ロボットのオペレーション確立 【関連法規】 道路交通法 【実証内容】 ・ 広島工業大学敷地にて自動配送の試験走行 (R4) ・ 埼玉県内において、セブンイレブンの協業による無人配送の実証実験開始 (R7)

(株) MITAS Medical	<p>【実証テーマ】へき地におけるオンライン眼科検診の実施に伴う医師及び看護師派遣のリソース確保とコストの両立</p> <p>【関連法規】医療法</p> <p>【実証内容・実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島県地域保健医療推進機構総合健診センター等において、非眼科医がデバイスを用いて眼画像を撮影し、遠隔地の眼科医が判断するという実証を実施 (R4) ・県内7市町の住民健診で実装 (R4) ・全国のコンタクトレンズ店で導入 (全国33店舗、うち県内2店舗) (R5)
(株) ユーリア	<p>【実証テーマ】スマホアプリで健康診断をする尿検査キットの開発・販売体制確立</p> <p>【関連法規】薬機法</p> <p>【実証内容・実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尿中アミノ酸と栄養状態の相関について広島市立大学と共同研究開始 (R6) ・全国のドラッグストア6,000店舗以上で販売 (R6)
(株) ビーライズ	<p>【実証テーマ】XR技術を用いた医療従事者向け教育コンテンツの開発・実装</p> <p>【ルールメイク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省及び総務省消防庁における合同通知 ・メディカルコントロール協議会における承認 <p>【実証内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島大学と連携し、医学生向けプロトタイプ開発 (R6) ・山口県、京都府の消防局と連携し、救急医療従事者向けプロトタイプ開発 (R7)
セレンディクス (株)	<p>【実証テーマ】3Dプリンター住宅の鉄骨・鉄筋レスによる工期短縮と低コスト化</p> <p>【関連法規】建築基準法</p> <p>【実証内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島県内の施工業者と連携し、坂町内に3Dプリンター住宅を施工 (R5) ・施工実証を踏まえて、高強度新素材はコストが高いことから、最適な方法について検討を継続している。

<p>(株) Blossom Energy</p>	<p>【実証テーマ】蓄熱式ボイラーによる熱エネルギー利用の脱炭素化及び商用化</p> <p>【関連法規】労働安全衛生法、ボイラー及び圧力容器安全規則</p> <p>【実証内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商用機のプロトタイプ開発 (R6) ・商用1号機を竹原市内に設置 (R7)
<p>(株) Nocnum</p>	<p>【実証テーマ】</p> <p>遠隔監視 IoT センサーによる浄化槽点検のDX化</p> <p>【関連法規】浄化槽法</p> <p>【実証内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠隔監視 IoT センサーを府中市内に試験導入 (R6) ・必要な水質データの取得及び現場での目視点検作業の負荷軽減が確認できたことから、水質推定AIを開発・実証 (R7)

4 今後の対応

規制緩和に向けた国の支援制度（規制のサンドボックス制度、グリーゾーン解消制度、新事業特例制度等）が拡充されていることを踏まえ、県による開発・実証経費の支援を終了することとする。今後は、県内フィールドとのマッチングや、規制対応のコーディネートなど採択企業のニーズに応じた対応を進める。

5 その他（成果報告冊子）

県内外の企業や県民への周知を図るため、令和5年度・6年度に採択した4社の成果を取りまとめた報告冊子を作成した。

（令和4年度に採択した5社の成果については、令和7年4月19日常任委員会において報告済み）

【県HPリンク】

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/259/sandbox-sakigake.html>